

## ◀1997年 東京工業大学(前期)▶

**1**  $a^2x^2 + b^2y^2 \leq 1$  をみたす  $(x, y)$  がすべて  $a(x-1) + b(y-1) \leq 0$  をみたすような  $(a, b)$  の範囲を求め、図示せよ。

**2**

(1) 極限值  $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=n}^{2n} \frac{1}{k}$  を求めよ。

(2) 任意の正数  $a$  に対して  $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=n}^{2n} \frac{1}{a+k}$  は(1)と同じ極限值をもつことを証明せよ。

**3**

(1)  $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{2}$  をみたす自然数  $x, y$  の組  $(x, y)$  をすべて求めよ。

(2)  $n$  を自然数,  $r$  を正の有理数とする。このとき  $\sum_{k=1}^n \frac{1}{x_k} = r$  をみたす自然数  $x_k$  の組  $(x_1, \dots, x_n)$  の個数は有限であることを示せ。

**4**

(1) 底辺の長さが  $l$ , 2つの底角が  $\alpha, \beta$  の三角形の面積  $S$  は、次式で与えられることを示せ。

$$S = \frac{l^2}{4} \cdot \frac{\cos(\alpha - \beta) - \cos(\alpha + \beta)}{\sin(\alpha + \beta)}$$

(2) 各辺の長さが  $1, 2, \sqrt{3}$  の三角形の各辺に1点ずつ頂点をもつ正三角形の面積の最小値を求めよ。

## 出題範囲と難易度

- 1** 標準  II 三角関数  
**2** 標準  III 積分法の応用  
**3** 標準  A 整数問題・数列  
**4** 標準  II 三角関数

## 略解

1

$$\begin{cases} a \neq 0, b \neq 0 \text{ のとき, } b \geq -a + \sqrt{2} \\ a = 0, b \neq 0 \text{ のとき, } b \geq 1 \\ a \neq 0, b = 0 \text{ のとき, } a \geq 1 \\ a = 0, b = 0 \text{ のとき, 常に成り立つ} \end{cases}$$

右図斜線部分および太実線・黒丸が求める領域で、  
境界線上の点を含む。

2

(1)  $\log 2$

(2) 証明は省略

3

(1)  $(x, y) = (6, 3), (4, 4), (3, 6)$

(2) 証明は省略

4

(1) 証明は省略

(2)  $\frac{3\sqrt{3}}{28}$

